菊池市立菊池北中学校　学校だより　No.4
2026.5.1　文責　岩谷　寛

生きる

靴がそろうと心がそろう
心がそろうと靴がそろう

体育大会の全体練習が本格的にスタートしました。小中学校合同運動会がスタートして、今年で節目の10年目を迎えます。今の3年生が小学校に入学した時には、もうこのスタイルになっていたということですね。年齢幅が広く、ほっこり温かな雰囲気にもなりますが、中学生は中学生らしい集団行動の力を小学生に見てもらうチャンスでもあります。早速、体育主任の緒方先生から厳しい"喝"が入る場面も見られました。返事の声、気をつけの姿勢、指示を聞く時の姿勢、素早い運び出しとかけ足移動などなど…。集団行動訓練を徹底して行っています。緒方先生が子どもたちに伝えます。『そろえること!! 全体が小さなことにこだわりそろえることで集団は美しくなる。中学生の見せ場だ!』

"そろえる文化"

さて、"そろえる"という話ですが…
「はきものをそろえる」という有名な詩はおそらく知っている人も多いことでしょう。長野市円福寺の住職をされていた藤本幸邦(ふじもとこうほう)さんという方がつくられたものです。右下の写真は北中の下駄箱の写真ですが、どの学年も常にきれいに並べられています。ひとりひとりが自然に意識できているのだと思います。子どもが落ちついた学校生活を送れているかどうかは、下駄箱の靴やトイレのスリッパの様子を見ればわかります。学校の鏡のようなものです。"はきものをそろえる"という文化は、もしかしたら日本人特有のものなのかもしれませんが、とても大切な文化だと思っています。これは、いわばひとつの"手間"のようなものです。この一見面倒くさい手間を入れる時こそが「心が整う」場面なのだと思うのです。面倒くさい手間をどれだけ丁寧にやっていくか…自分は?集団は?考えてみるいい機会ですね。
おとひとつ!そもそも本当にそろっているのか?いいえ、そんなことはありません。乱れたトイレのスリッパを黙ってさりげなく並べる子どもがいます。北中にはそんな素敵な人がいます。嬉しくないですか?ホッとしませんか?
みんなに伝えたいことは3つです。この力を身につけてほしいです。

気付く 感じる 行動する

気付かないことを無知と言います。感じないことを無関心と言います。
だからこそ"小さなこと"にこだわります。"そろえること"にこだわります。自分は何ができていて、何ができていないのかを考えてみてください。何ができている人をさがしてください。できていない人をさがしてください。「知らなかった…」「どうでもよいと思った」とつぶやく自分とはサヨナラです。

担任と心のキャッチボール♡

子どもたちは、毎日"やりとり帳"で毎日の学校生活をふり返っています。担任の先生は学級の子どもたちの日々のつぶやきに返しを入れてくれています。いわば"担任とみんなをつなぐ大切な架け橋"のようなものです。感じたこと、学んだこと、あるいは悩みや相談したいこと、先生に知ってほしいことなど、どんどん書いてみるといいです。文字と文字のコミュニケーションは、心と心のキャッチボールです。いずれみんなの宝物になるはずです。

大型連休〈G・W〉です!!

さあ今年は何をしよう!!という考えていることでしょう。私は広島まで旅行に行く予定をたてています!
5日間の連休です。疲れた体と心をリフレッシュさせて、休み明けから更に加速する体育大会練習に備えてください。くれぐれも事故等にはご注意を!
楽しく有意義なG・Wになりますように…。